

里山の夏を告げる

短い梅雨を経て、一気に真夏となりました。この加茂地区も連日35度を越える暑さで、熱中症に注意しながら外仕事をしなければなりません。ところでこの里山には夏の到来を告げるいくつかの恒例の行事や現象があります。ホタルの見ることで、この里山には夏の到来を告げるいくつかの恒例の行事や現象があります。ホタルの見ることで、この里山には夏の到来を告げるいくつかの恒例の行事や現象があります。

秋の里山の作業は、水路の改修及び拡張整備が必須となる予定です。整備すれば範囲も拡大されます。他のところは近年の環境状況の進展(外灯LED化など)に伴う変化により、シビアな状況にあります。なお、ホタルを見るための対策で、くれぐれも足元に注意して下さい。



秋の里山の作業は、水路の改修及び拡張整備が必須となる予定です。整備すれば範囲も拡大されます。

かみ取りも、今年徐々に再開していきます。鮎釣り人口を増やすとともに、愛される漁協となるように鋭意努力してまいります。



かみ取りも、今年徐々に再開していきます。鮎釣り人口を増やすとともに、愛される漁協となるように鋭意努力してまいります。

加茂里山通信

令和4年夏号
発行 市原商工会議所 加茂里山通信編集部 編集長 征矢貫造

ホタル舞う 自然はしっかり対峙

2022年当初、古敷谷のホタルの里の水路の状況が悪化していました。砂が溜まっているのが確認されていきました。それでも時間とともに自然はしっかり対応していて、今年もゲンジホタルが飛んでいるのを見ることができました。そのことに少し安堵しました。

鮎を釣る 第17回養老川アユ釣り大会

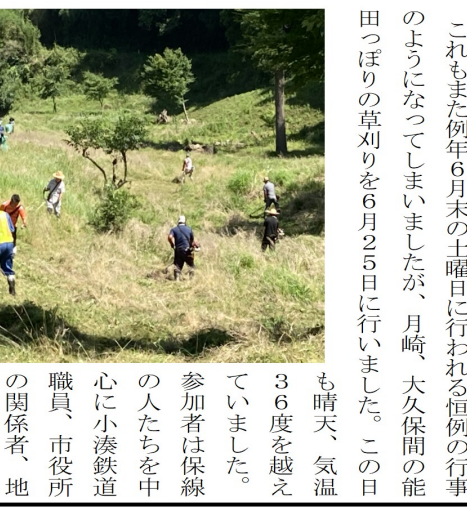
養老川は清澄山系を水源とし、鮎の成長に適した河川です。戦前より多くの釣りファンに愛され、県内で注目されてきました。しかし、年々釣り客が減少し、養老渓谷周辺の事業者から、大会を開催し地元活性化をはかりたいと要望がありました。平成18年に参加者約50名で第1回を開催し、今までも後援や協賛を得て継続できています。



養老川は清澄山系を水源とし、鮎の成長に適した河川です。戦前より多くの釣りファンに愛され、県内で注目されてきました。

茅の輪をくぐる 夏越の大抜いをする

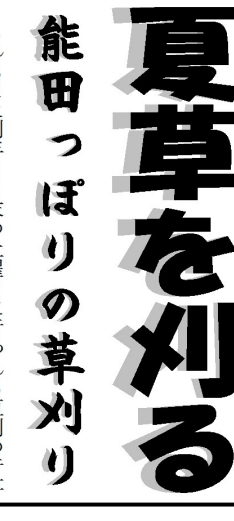
高滝神社では毎年6月30日に茅の輪くぐりを行っています。例年は梅雨のさなかで雨などが心配されますが、今年は雲一つない晴天と猛暑となりました。それでも夕方方は少しのぎやくなり、午後6時から神事が開始されました。



高滝神社では毎年6月30日に茅の輪くぐりを行っています。例年は梅雨のさなかで雨などが心配されますが、今年は雲一つない晴天と猛暑となりました。

夏草を刈る 能田っぼりの草刈り

これもまた例年6月末土曜日に行われる恒例の行事のようになっています。月崎、大久保間の能田っぼりの草刈りを6月25日に行いました。この日も晴天、気温36度を越えていました。参加者は保線の心小湊鉄道職員、市役所の関係者、地域の里山連合に関わる人たちでした。



これもまた例年6月末土曜日に行われる恒例の行事のようになっています。月崎、大久保間の能田っぼりの草刈りを6月25日に行いました。

加茂学園は今

加茂学園1年生です!

4月8日(木)に加茂学園の入学式が行われました。9年生と並んで入場した10名の新入生を、在校生があたたく迎え入れました。「入場する時に緊張したけど、9年生と一緒に歩いて楽しかったです。」



4月8日(木)に加茂学園の入学式が行われました。9年生と並んで入場した10名の新入生を、在校生があたたく迎え入れました。

4月25日(月)、1年生、4年生、7年生が交通安全教室を行いました。講師として市原市役所地域連携推進課と南総交通安全協会の皆さんにお越しいただき、道路や踏切の横断の仕方、自転車の乗り方等について学びました。正しい交通ルール・マナーへの理解を深める貴重な体験となりました。

市原商工会議所ニュース お仕事見学バスツアー

爽やかな気候の中、市原商工会議所観光部会・市原市共催による市内を中心とした高滝湖3年生を対象に、5月31日(火)〜6月1日(金)の4日間、ゴルフ体験・お仕事を体験するバスツアーを実施しました。ゴルフ場について関心がある学生や卒業後就職を考えている学生を募集したところ、今年は参加校7校、生徒46名が参加しました。



爽やかな気候の中、市原商工会議所観光部会・市原市共催による市内を中心とした高滝湖3年生を対象に、5月31日(火)〜6月1日(金)の4日間、ゴルフ体験・お仕事を体験するバスツアーを実施しました。

5月28日(土)、体育祭を開催しました。加茂学園体育祭の特色である異学年交流種目では、上級生が下級生を優しくフォローしながら競技に臨む微笑ましい姿がたくさん見られました。また、演舞では赤組・青組ともに息の合った素晴らしい演技を披露しました。生徒たちの生き生きとした表情と元気な応援がグラウンド全体に広がりました。

午後スタッフからゴルフ場コースの説明を受けた後、バナー練習やボールを遠くへ飛ばすレンジ練習、実際に1コースを回ってみる等、爽やかな気候の中、ゴルフの楽しさを感じながらも広い敷地で開放的なゴルフ体験を満喫しました。終了後はゴルフ場提供のスィーツを楽しみながら、先輩従業員との懇談で将来を語りました。

編集後記

・高滝地区の駒込にブルーベリー狩りを楽しめる観光農園がオープンしました。日本一甘くておいしいブルーベリー栽培を目指しているそうです。高滝には大粒のブルーベリーを栽培する星野農園さんもあります。高滝神社では月1回のお宝市も始まりました。山小川も含めればランピング施設が2カ所オープンし、トロッコ列車の乗降ができるようになったのは今年の春です。高滝限界がどんどん変わっていきます。

次回(10月20日)発行予定です。情報提供、取材依頼はお近くの通信員へ。メールでも受け付けます。記事に関する意見、お問い合わせは下記へ。

市原商工会議所 0436(22)4305 担当 電崎 Eメール 1sapo@1-coi.or.jp

1・2年生校外学習 6月20日(月)、1・2年生が「いちほろクオードの森」に校外学習に行きました。たくさんの動植物に囲まれて、園内をゆつたりと散策しました。おいしい空気ときれいな景色を満喫しながら、あらためて加茂地区の自然の豊かさに触れることができました。

今後、生徒たちが生き生きと学び、楽しく充実した学校生活を送れるよう、職員一丸となって努めてまいります。 (遠山里山通信員)

房総・養老深谷の地酒お土産は 養老深谷駅前 角屋商店 養老深谷観光協会窓口 市原市朝生原181 TEL0436-96-1108 FAX0436-96-0052

愛車のある幸せな暮らしを応援します! 安全・安心 有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店 小茶自動車 市原市石神227 TEL0436-96-0482 FAX0436-96-1293

皆様と共に歩む観光 高く青い空とバス釣り! 高滝湖観光企業組合 TEL 0436-98-1277

夢ホールにて ウクライナ支援ライブ カテリーナ

ロシアのウクライナ侵攻からは5か月が経過しました。日本の各地でウクライナ支援の活動が行われています。市原でも5月22日にウクライナの支援ライブが開催されました。企画はいちはら有志の会、藤田和利代表。出演はウクライナの民族楽器バンドウラ奏者のカテリーナと友情出演の「ぷっちゃんべりんず」と「Review」でした。



いちほら有志の会は東日本震災が起きた後すぐに立ち上げ、福島県いわき市へ支援に向かいました。毎年のように3・11に合わせ支援に行き、そこで一人ではやはり毎年のように支援に来ていたカテリーナさんに出会ったといいます。彼女がなぜそこにいたのかといえは、原発の事故が他人事ではなかったからでした。1986年3月28日に当時時は「連（現ウクライナ）のチェルノブイリから2、5キロ離れたプリピチャで生まれました。1カ月もたない、4月26日にチェ

ルノブイリ原子力発電所の爆発事故が起こりました。一家は町から強制退去させられ、キエフ（現キーウ）へと避難しました。6才でチェルノブイリ原発で被災した子供たちで構成された音楽団「チェルボナカリーナ」に加入し、海外公演に参加するようになり、10才の時に日本中を回って公演し、いつか日本に住んで演奏したいと思うようになりました。19才の時に音楽活動の拠点を日本に移しました。

開宅舎通信 三栗野鈴菜さん

開宅舎は加茂地区で移住者の方に空き家を紹介しています。私たちの事務所は、朝生原にある使われなくなった納屋を改修してつくられました。新しく建てるのではなく、もともとある空き家を使う。外国産の建材を使うのではなく、裏山の木を使う。知らない職人に頼むのではなく、近所の大工さんに頼む。事務所をつくる過程で、違うものを使わなくても、いいものはすぐ近くに、目の前にたくさんあることに気づきました。

そんな事務所を設計したのは、西国吉にあるKunosaka Kenjiという建築設計事務所です。これまで開宅舎が開いた古民家の設計、工事、不動産仲介に携わってきました。

今回は、事務所をつくる際に現場監督を勤めたJunoko Katoさん、スタッフの三栗野鈴菜さんにお話を伺いました。

現場にいて流れを作る必要があった。それがすぐ私にあつたんだと思う。
K：偶然だったんだね。三栗野はもう周りの人に溶け込んでいくのがうまいなと思ってたんだけど、何か意識していることあるの？
M：まず人の話を聞いてあげることが意識してる。理由の一つは、わたしが尊敬している人が宝塚の娘役の人なの。宝塚は男役がリーダーで引張って行く役なんだけど、娘役の人は一歩下がって引き立てる役だね。それが美しいなと思って、自分も誰かを支えられるようになったらいいなって思ってる。もう一つは、みんなちがってみんないいって思ってる。というのも、わたしが帰国子女だったり、高専に行ってるから大学に編入したり、一般クラスの人と感覚が合わないことがよくあつたんだよね。だから、自分と違う人と触れることが多かったから、まずはその人のことを知りたいなって思って、それで話を聞いてあげられる人になりたいなって思ってる。



K：建築設計事務所に勤めている人間として、空き家ってどう思う？
M：わたしはいろんなタイプの空き家に出会ってるの。海外にいたときは使わなくなった宮殿も見てるし、福岡にいたときは長屋構造になってる町屋も見てる。今は加茂地区にあるような古民家も扱ってるし、会社として郊外で建てた団地の空き家についても考えたりしてるんだよね。
K：空き家って聞くと、古民家をイメージする人が多そうだなね。確かにいろんなタイプの空き家と出会ってるんだね。
M：新築の家を建てる時ってどういう空間にしたいのかゼロから考えるんだけど、空き家ってもう建ってるからさ。どう使おうかって考えるんだよね。空き家を使おうとしたときに新築のほうがいいじゃんって感じる人もいると思うんだよね。でもわたしは今建てる家や古いものを使っていく姿勢がすごくいいなって感じるし、地域の課題としてどうにかしなきゃいけないとも思ってる。だから、空き家を使いたいと思う人がいたときに、全力で応援できる建築家にわたしはなりたいなって思ってるよ。

事務所に遊びに来て下さい
私たちは、地域のみなさんにもっと気軽に事務所に来てほしいと考えています。そこで、7月24日に空き家の相談会を開催します。空き家をお持ちの方、情報を知ってる方、管理にお困りの方、開宅舎の活動に興味のある方。ただ事務所を見学がらお茶を飲むだけでも構いません。ぜひお立ち寄りください。

開宅舎のオフィスの現場監督をした感想
K：はじめての現場監督って聞いたんだけど、この現場の監督をやって率直にどうだった？
M：たいへんだった。現場監督は工程管理と品質管理と全部やらなきゃいけなくて、そこに人の手配や道具の手配があつたんだよね。自分の経験値のなさをほんとは痛感した。ただ、関わる人が多かったから、この現場を通してコミュニケーションの幅がすごく広がってリーダーとしていなきゃって思ってたんだよね。
K：みんな大変監督って言ってたもんね。
M：監督ってすつと言われた。たいへんだったし、そのフレキシビリティもすごいあった。今までリーダーとして

空家の相談会
日時：2022年7月24日（土）10時～12時
場所：開宅事務所（市原市朝生原8-19）
連絡先：050-6862-19076
（開宅舎 高橋洋介）

こつもと紀行 スライムと金の島

田淵のチバニアンに、地層の目印となるゴールドenspアイクが設置されました。
2018年に国の天然記念物に指定され、20年に国際地質化学連合から、世界遺産として認定されています。

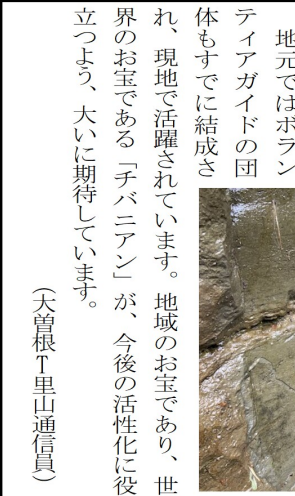


「国際境界模範地」指定をお祝いできました。小出市長は「市はこの貴重な地層を守り、未来へ伝えていくとともに、研究・学習教材として積極的な活用を図る。」と述べ、26年度の供用開始に向けて、進入路やガイダンス施設整備の計画を発表しました。

来賓の熊谷知事は「千葉の名前が地球史に刻まれた。文化財として保護し、教育や観光に活用したい。」と話しました。

式典で発表されたゴールドenspアイクの除幕式には加茂学園の児童・生徒の代表も招待され、市長・知事と並びながら、見事に任務を果たしておりました。

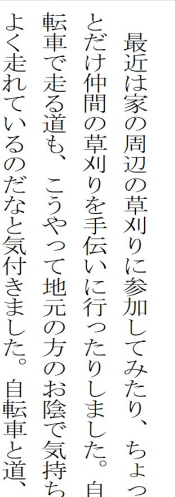
地元ではボランティアガイドの団体もすでに結成されています。地域の歴史や文化、地元の自然を、現地でも活躍されています。地域のお宝であり、世界のお宝である「チバニアン」が、今後の活性化に役立つよう、大いに期待しています。



里山の「鬼」 スイカの日

7月27日は「スイカの日」。熱中症対策にスイカを食べよう！
熱中症を防ぐためには水分補給することが第一ですが、スイカは水分が90%以上と非常に豊富。さらに糖分、カリウム、カルシウム、マグネシウム等のミネラルも含まれるので微量の食塩を加えるとスポーツドリンクと同じような効果を期待できます。富里のスカマラソンは理にかなっていますね。

家の畑でも昔はスイカを作っており、子供の夏の行事で町会館に集まって「パーキユーやキャンプファイヤー」を行うため、畑で材料の調達をしました。子供たちも手伝って、スイカを背負いカゴに2つ入れ、手にもひとつ持ち、運んできました。パーキユーも進み、お楽しみスイカ割りの時間。順番に目隠しをしてチャレンジしますが、小さい子は中々当たりません。高学年の子供が見事命中してみんなでスイカをほおぼりました。その後、子供だけで会館に泊まりました。



これは20年位前のお話です。今は子供の数も減り、子供会として活動できなくなっています。畑でスイカを作っても人間が食べる前に猿に食べられてしまうことが増えて、家でもスイカは作らなくなりました。その他にもカボチャやサツマイモもイノシシに狙われるので敬遠されます。ジャガイモ畑が荒らされて、全滅したという話も聞きます。電柵の中までは入ってきませんが、扉を閉め忘れて荒らされたり、線が切れたところから入られたり、油断ができません。柵の高さが低くとキノコが飛び越えて新芽を食べてしまっています。家のすぐ近くでもイノシシが掘ったであろう大きな穴が開いています。



地域おこし協力隊リポーター
なまの山プロジェクト
養老溪谷
みなさまこんにちは、白石です。
春が来て暖かくなったかと思えば、いきなり暑くなるかとお過ごしでしょうか。
少しずつ外にも出るようになってきたので、自転車ツアーなどもおかげさまで少しずつ実施しています。特に牛久高滝・田淵・養老溪谷あたりをよく走っています。突然「あいつするかもしれません、あやしいものではあませんが、安心ください。」
最近家の周辺の草刈りに参加してみたり、ちよつとだけ仲間の草刈りを手伝いに行ったりしました。自転車走ってる道も、こうやって地元の方のお陰で気持ちよく走れているのだなと気がきました。自転車と道切っても切り離せないもの、なにかそんな地域のことでも自転車乗りたちにも伝えられたらいいのではないかと思います。

「配布される地図を参考にチームで戦略を立て、あらかじめ設定されたチェックポイントを制限時間内に回り写真を撮ることで得点を獲得して、その合計点を競うログゲイニング競技」
さらに謎解き要素やしめ飾りづくりなどの文化体験でも特典を獲得できるようにアレンジ。さまざまな楽しみ方ができるイベントになっています。

当日は梅雨直前なのが、この日だけ晴天を迎えられるという最高のタイミング。約100名の参加者にお越しいただきました。

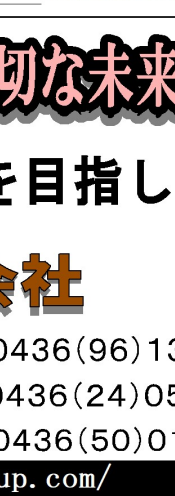
このイベントの企画図は、イベントや観光シーズンではなく、人の少ない時期にいつもの観光スポット以外にも南部にお越しいただけるきっかけづくりと、里の暮らしなどの魅力発信を目的としたため、みんなにも多くの方に参加していただけるとは言葉にならないほど嬉しかったです。

地元の方からは「よくこんなところをチェックポイントにしたね。知らなかった」「ずつと住んでいくけど知らない道を初めて通った」との声をいただきました。自転車で裏道のポイント探しをしたかがありました。

次回開催を秋頃、高滝湖周辺で予定しています。またみなさまの協力をお願いできましたらうれしいです。

第3日曜はお宝市

5月から高滝神社の境内を使って、月の第3日曜に「お宝市」が開催されています。主催するNPO法人南市原夢街道の門脇さんはコロナ禍で賑わいをなくした高滝神社に賑わいを取り戻したいと語っていました。最初の日の前日は人が集まるだろうかと心配で眠れなかったそうです。神社周りと中段も活用して、骨董品、農産物、工芸品、手芸品、屋台など多彩な店が並びます。産直は加茂地区にいくつもありますが、骨董市はここだけです。ぜひお出かけください。



（矢野里山通信員）

人と環境が一体となって大切な未来へ
自然環境と人間との調和を目指して
杉田建材株式会社
本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111
URL http://www.sugita-group.com/